

# 放課後等デイサービス自己評価表

令和4年度  
特定非営利活動法人とこっこ 野っこ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
環境・ 体制整備	1	利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定基準で言えば満たしているが、日々大きくなっていく子どもたちにとっては手狭に感じることもあるので、近くの児童館・公園・体育館なども利用して子どもたちが満足できる環境を整えていけるように考えております。</li> <li>・活動後トイ部屋を3か所にわけているが、利用人数が多い曜日もあるためスペース的に狭く感じる時もある。</li> <li>・ご利用していただける方が増えた分送迎場所の増加・その日事の送迎時間の変更などがあり活動時間のイレギュラーがある日はある。人員もスペースに対して窮屈に感じる時もある。</li> </ul>
	2	職員の配置(人数)や専門性は適切であるか	4		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性は高く感じるが、利用者軽度度に対しての配置はギリギリもしくは不足していると感じることもある。</li> </ul>
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置など利用児の必要に応じた配慮が適切になされているか	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後必要に応じては設置を考えていきたいと思えます。現在は手すりやスロープが必要とされる方がいないこともあり設置されていません</li> <li>・段差のある個所に手すりなどはないが、手を取り転倒などが内容配慮はしている。</li> <li>・バリアフリーは不十分と感じることもある。</li> <li>・野っこ内は段差も少なく、スロープなどが必要な子が今は通所していないので設置されていないが、子どもの状況に応じて必要な場合は声掛けやサポートを行っている。</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちにとってより楽しみより気づきを得ることが出来るよう職員間で日々の活動を振り返り新しいことに挑戦できる環境を提供できるようにPDCAサイクルを回しチームで参画できるように勤めている。</li> <li>・毎日の振り返り、週一の会議など全体で話し合える機会を設けている。</li> <li>・子どもへの対応や活動など、現状で満足しないためにたえずPDCAを回しより良い支援に勤めている。</li> </ul>
	5	保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の皆様にはアンケートにご協力頂き、ご意見から業務を改善しより良いものを提供させて頂けるよう勤めている。</li> </ul>
	6	この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開している。</li> </ul>
	7	第三者(外部委託によるものや同職種、関係機関等の訪問、見学会等からのフィードバック)による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価は現在できていない、保護者アンケートの結果は職員間で共有し、業務改善に繋げさせていただいています。</li> <li>・そういった体制は整っていないと感じる。</li> </ul>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員も保護者研修に参加させて頂いている他、外部の研修へも参加させて頂いています。</li> <li>・法人内研修や保護者研修の機会を多く持つことが出来ている。</li> <li>・スタッフも保護者研修に積極的に参加し、資質の向上を行えるようにしています。</li> <li>・研修の機会を多く設けられており、全員の職員が学ぶ機会を保障してもらっている。</li> </ul>
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方々からお話を伺いその思い、個々の特性・強み・能力から個別支援計画を作成させて頂いている。</li> <li>・日々の出来事や悩みなどは送迎時に話し合いが出来ているが面談が滞っている面で改善が必要と感じた。</li> </ul>
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画から目標とされる事を切り抜き子どもたちへ対してのアプローチ子どもの行動を記録できるように毎日記録を付けるようにしています。</li> </ul>
	11	行事や活動プログラムの立案、共有、実施するための検討をチームで行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで話し合い、月ごとに主となる活動を決めるようにしている。</li> <li>・プログラムの立案に関しては新人への負担が大きいと感じる。</li> </ul>

	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週ごとに活動内容を変えたりと工夫しているが、似たような活動になってしまっていることもあるのでもっと意識していきます。</li> <li>・季節や行事に合わせた活動を取り入れるように心がけて活動を計画しています。</li> <li>・人数と人員の関係上、どうしても固定化されている日があると感ずることもある。</li> <li>・月ごとに活動の概要をチームで話し合い季節や子どもたちの状況を考え、楽しめる活動を提供できるように工夫している。</li> </ul>
	13	平日、休日、長期休暇に応じ課題を決め、細やかな支援を行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの利用時間に合わせて活動プログラムを組むようにし、長期休暇利用しお出かけをしたりしている。</li> <li>・長期休暇では、平日ではおこえない活動を入れたり、利用時間が長いことからゆったりする時間も設け、メリハリが出来るよう意識している。</li> </ul>
	14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その子なりの集団への参加を意識し参加をしてもらったり、必要にお王子で個別にSST・コグトレ・レジリエンス・性教育などを行うようにしている。</li> <li>・スタッフの配置に余裕のある際は、個別の活動を積極的に取り組めるように努めています。</li> </ul>
	15	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝ミーティングをし、活動担当の確認を行うようにしている。</li> <li>・支援開始前に、その日の活動プログラムをスタッフ全員で読み合わせ、必ず打ち合わせ・見直しをするようにしています。</li> <li>・研修などの兼ね合いで話し合いに参加できず書面での確認で現場に出ることもある。</li> <li>朝にミーティングを行い、子どもたちのコンディションに合わせてスタッフの配置を変更するなど、細かく行っている。</li> </ul>
	16	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎後毎日振り返りを行い、気づきは週一会議でも話し合うようにし支援に役立てるよう共有している。</li> <li>・支援終了後に振り返りの時間を設け気づいたことなどを話し合っている。</li> <li>・送迎から戻ってくる時間が遅くなる時もあり、振り返りの時間が十分に確保できない時もありました。</li> <li>・共有の時間は十分に確保されている。</li> </ul>
	17	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改善に繋げているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全体(パートも含め)統一した記録の取り方を行い、検証・改善を行っていけるようにしている。</li> <li>・子どもたち個々の記録を毎日とっている。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングから個別の課題を抽出し課題として取り組めるようにしている</li> <li>・支援会議を行い支援の見直し等を行っている。</li> <li>・モニタリングは行っており、支援方法についてのPDCAはあるが個別支援計画の見直しには繋がっていない。</li> </ul>
	19	ガイドラインの総則の基本活動(自立支援・日常生活充実のための活動・創作活動・地域交流・余暇提供)を複数組み合わせる支援を行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、地域交流が出来ていません。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有(年間予定下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等)を適切に行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらの送迎の都合で送迎時間が遅れる場合など、学校へ協力をお願いしたり、送迎時の対応を話し合い行わせて頂いている。</li> <li>・十分とれている。</li> <li>・子どもの変化や学校での困り事務所での対応など、送迎の際に先生方と共有や相談を行っている。</li> </ul>
	21	相談支援事業所の(サービス)担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者または子どもの担当職員が参加させて頂いています。</li> </ul>
	22	就学前に利用していた保育園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所と協力して野っこ利用前に保育園の見学に伺ったり、事前に子どもの情報共有を行ってもらったりしている。</li> </ul>
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて移行先へ支援内容の提供を行わせて頂いております。</li> <li>・現状福祉サービス移行者を見ていない為不明。</li> <li>・近年、このパターンの卒業生が出ていない。</li> </ul>
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター、他の福祉サービスや医療機関等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連携を行い、専門的アドバイスを頂いている。</li> </ul>

	25	利用者が地域の子どもたちや他の利用者のご兄弟たちと、活動や交流する(触れ合う)機会があるか	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの状況も考慮した結果、公園など外出する機会は減少しています。</li> <li>・コロナの様子を見ながら公園に行ったりはするが、触れ合いの場までは難しかった。(とこフェスが機会になったかとは思う)</li> <li>・コロナ禍の為、地域の子どもたちや、ご利用者のご兄弟たちとの交流をする機会を作ることが難しいです。</li> <li>・コロナ禍の影響のため行えてない。</li> <li>・地域の子どもたちが多く集まる公園に出向き、同じ遊具で遊んだり順番で待ったりなどの交流の機会がある。</li> </ul>
	26	管理者や児童発達支援管理責任者は、自立支援協議会(常滑市の関係機関が集まり、地域課題の共有とサービスの整備を協議する会議)へ積極的に参加し、それを他職員へ共有しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が参加させて頂いております。職員への共有が行き届いていない部分がありますので、今後は共有していけるようにします。</li> <li>・参加はしているはずだが、あまり共有されない。</li> <li>・参加はしていると思うが共有はない。</li> </ul>
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や面談時にお話しさせて頂いております。</li> <li>・送迎時に話をしている。質問・悩みなどは終了後のミーティングで情報共有している。</li> </ul>
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングや知識付与の勉強会等、支援を行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者研修を行い、ご参加できない方へは情報提供をさせて頂いております。</li> <li>・保護者研修を行っている。</li> <li>・保護者研修を行い、職員と共に学ぶ機会を設けている。</li> </ul>
保護者への説明責任等	29	管理者等は運営規程、支援の内容、利用者負担等を保護者の方へ契約時に丁寧な説明を行い、他職員もその内容について説明することができているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に説明をさせて頂いております。</li> </ul>
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩み等お伝えいただいた際には、職員間で話し合いを行い療育の観点から出来る支援方法などお伝えさせて頂いております。</li> <li>・相談を全体の場で共有し、解決策を考えている。</li> <li>・送迎時や連絡帳・電話やメールなどで保護者の方とやり取りを行い、必要に応じてアドバイスなどを行っている。</li> </ul>
	31	父母の会(親の会)の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携(横のつながり)を支援しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶話会など開催させて頂いております</li> </ul>
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者にそれを周知し、苦情があった場合には迅速かつ適切な対応がとれる準備ができているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情があった場合は、チーム全体で共有し、対応の体勢の統一を図っています。</li> </ul>
	33	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月「野っこだより」を発行し情報を掲載させて頂いております。</li> <li>・毎月お便りを発信している。</li> <li>・月に一度お便りを発行している。</li> </ul>
	34	個人情報に十分注意しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・名前や写真が載っているものなど、取り扱いに注意している。</li> </ul>
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真などのカードを使ったり、必要な場合は個別にスケジュールボードを使い子どもとの意思疎通を図っている。保護者の方へ対しては連絡帳での情報共有やその日の送迎などお話をさせて頂いております。</li> <li>・視覚ツールの充実化を計ったり、取り扱いに配慮している。</li> </ul>
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は地域交流カフェを行っていたが、現在はコロナ禍間いこともあり地域住民の方と交流する場は十分に行われていないと感じます。</li> <li>・コロナ禍の為、地域住民の方と交流する機会を作ることが難しいです。</li> <li>・コロナ化と言うこともあり、十分に行えていない。</li> <li>・コロナもあり、地域との関わりは薄くなっていると感じる。</li> </ul>
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員はもちろんのこと保護者の方にも面談時や何らかの連絡ツールによる周知を図っているか	2	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの有無はお伝えしているが、すべてのマニュアルの内容まではお伝えできていない部分もあるかもしれません。</li> <li>・職員間での共有はされているが、保護者様への説明はわからない。</li> <li>・職員は把握しているが、保護者の方に周知出来ているかはわからない。</li> </ul>

## 非常時等の対応

38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に火災、地震・津波、不審者訓練を行っており、子どもたちの活動ではシェイクアウトや防災グッズのカルタなど取り組んでもらえるようにしている</li> <li>・火災、地震、津波、不審者訓練を定期的に行っている</li> <li>・活動で避難訓練を取り入れています。防災カルタや防災すごろくなど、楽しく活動できるような取り組みをしています</li> </ul>
39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止マニュアルを月に1回チェックするようにしています。</li> <li>・虐待防止マニュアルの読み合わせを会議で行っている。</li> <li>・虐待防止の職員セルフチェックを月1回おこない、細かいことでも相談し合える体制をとっている。法人内で研修も行っている。</li> </ul>
40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急性、非代替性、一時的であることを職員全体で認識し、身体拘束が必要な場合を想定し保護者の方へ説明し同意を頂いております。</li> </ul>
41	子どもの食物アレルギーの有無について聞き取りを行い、保護者の方や医師の指示等に基づく対応がされているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーのある子は把握させて頂いており、医師の診断がない場合も保護者の方の情報に基づいて対応させて頂いております。</li> </ul>
42	ヒヤリハット事例集(記録)を作成して事業所内で共有しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1回の会議内でヒヤリハット事例を出し職員間で共有しています。</li> <li>・週に1回会議で話し合い対応を統一できるようにしている。</li> <li>・週に1度、会議の時間を設けヒヤリハットの事例をスタッフ内で共有する機会があります。</li> </ul>